

NEW班会を学ぼう！班会で集まれば社会参加！

～「しないといけない」から「足が向く場所へ」～



3月25日(月)福山市東交流館にて、組合員活動委員会主催で、倉敷医療生協副理事長の早川高子さんをお招きし「NEW 班会を学ぼう」と学習会を開催しました。組合員49名、職員10名が参加しました。(写真上：早川さん)

はじめに、服部融憲理事長(写真左)から、コロナ禍で組合員活動が壊滅的打

撃を受けました。昨年12月の支部長会議でも、「班会を旺盛にしよう」と呼びかけ、今日の学習講演を開催しました。と開会挨拶を行いました。

早川さんは、倉敷医療生協の紹介(組合員6万4千人、46支部731班)と理念「人が人として大切にされる社会をめざし、保健・医療・介護の運動と事業を通して様々な人々と手をつなぎあい、平和とくらしを守り、健康で明るいまちをつくります」(2006年5月)、自身の医療生協との関わり、1983年真備歯科診療所を受診したさい、すすめられて組合員に。その後、支部運営委員になり、運営委員長に。1997年三男が水島協同病医院に入院。1999年恩返しのため理事に就任。理事としての活動として日本医療福祉生協連や全日本民医連の活動に参加。いつでも元気の編集委員をしています。

倉敷医療生協の班とは、「組合員の協同によるつながりの場、健康づくりの場、学びの場、支え合いの場」です。班会に集まれば社会参加！社会参加が健康づくりの第一歩。健康寿命の延進には、食事、栄養、運動に社会参加(班会)が元気で長生きの秘訣です。医療生協組合員としての喜び、しあわせは、連帯、安心、自己実現、社会貢献です。みなさんと手を携えて努力を続けて行きます。と締めくくりました。

ご参加の組合員のみなさま、職員のみなさま、お疲れ様でした。ありがとうございました。